

指定管理者評価シート

事業名	地域コミュニティ施設運営管理費	所管課(電話番号)	東区市民部地域振興課(741-2429)
-----	-----------------	-----------	----------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市苗穂・本町地区センター	所在地	札幌市東区本町2条7丁目2-10
開設時期	平成11年2月15日	延床面積	1,309,313㎡
目的	地域住民のコミュニティ活動の助長及び生涯学習の普及振興を図り、もって地域住民の福祉の増進に寄与する。		
事業概要	(1) 各種講習会、講演会等の開催、体育、各種野外活動等のレクリエーション活動の推進、その他必要な事業を行うこと。 (2) 一般の使用に供すること。		
主要施設	ホール、集会室、実習室、和室		
2 指定管理者			
名称	札幌市苗穂・本町地区センター運営委員会		
指定期間	令和5年(2023年)4月1日～令和10年(2028年)3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターが、地域社会に関係の深い団体によって継続的に管理運営されることにより、地域住民がまちづくり活動に直接参加する機会が作られ、地域住民自らがセンターの管理運営を通して把握された地域課題の解決に取り組むことによって、地域住民間の信頼関係が築かれ、地域社会における絆の強化につながることとなる。また、まちづくり活動の担い手の育成に寄与することも期待される。このようなことから、設置目的の実現のために、地縁による団体により設立された団体及び当該設立された団体を主な構成員とする団体並びに当センター等の管理運営に関わりを持つものと市長が認める地縁による団体の推薦を受けた団体により、現に良好な管理運営が行われている場合には、継続的に管理運営を行わせるために非公募としたもの。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	(1) 統括管理業務 (2) 施設・設備等の維持管理に関する業務 (3) 事業の計画及び実施に関する業務 (4) 施設の利用等に関する業務 (5) 前各号に掲げる業務に付随する業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価								
1 業務の要求水準達成度											
<p>(1)統括管理業務</p>	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市から令和5年度を初年度とする5年間、札幌市苗穂・本町地区センターの運営にあたり指定管理者として設置目的である地域住民(札幌市民)のコミュニティ活動の助長・生涯学習の普及並びに地域住民の福祉増進に寄与することを基本理念とし、次の基本方針を策定した。</p> <p>▼地域に暮らす乳幼児から高齢者まで誰もがともに参加し利用できる地区センターとして以下について推進する。</p> <p>①子育て支援事業の実施 ②地域福祉事業の推進 ③関係諸団体の活動拠点として施設の有効活用</p> <p>▼講座・文化祭・コンサートなど、世代を超えて生涯学習としての教養・文化・芸術にふれる機会の提供と、学ぶことの楽しさと感動できる事業を提供できる地区センターとして関係事業を実施する。</p> <p>▼地域は老若男女を問わず多くの個人と企業と団体等によって構成されている。苗穂・本町地区センター運営委員会が、利用者をはじめ地域で働き暮らす方々の声を受け止め、地域まちおこし事業の拠点として運営していく。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼公の施設として「特定の利用者・団体に偏ることなく、利用者の誰もが公平・平等に利用できること」を確保するため、以下2点に留意し適正な運用に努めた。</p> <p>①関係法令を遵守すること ②広報活動の充実を図ること</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>▼電気・ガス・上下水道の使用について、各使用量は前年度より微減となった。</p> <p>▼ガス使用量の削減を念頭に、歩行者用通路のロードヒーティングの停止について、職員会議で議論し「高齢者の利用率が高いため停止しない。」事を確認した。</p> <p>▼冷暖房用機器について、職員による定期的なエアコンフィルターの清掃による機能維持、利用者に対する室温の過度な温度設定の防止をお願いした。</p> <p>▼ 照明の不要ヶ所の消灯及び間引きを励行した。</p> <p>▼サニタリー用洗剤について、引き続きグリーン購入ガイドライン指定品の使用に努めてきた。また、日常清掃に使用する洗剤について、環境に配慮した洗剤を使用していることを業務委託業者より確認している。</p> <p>▼札幌市環境マネジメントシステムに則り、各種帳票を提出した。</p>	<p>・事業の策定・実施については、運営委員会と事務局が連携を密にし基本方針に基づき決定した。</p> <p>予定事業の全てを実施するなど、新型コロナウイルス前の状況に積極的に戻している。参加者からも、満足の意見があった。</p> <p>・策定した方針や関係諸法規を全職員が念頭におき平等利用に取り組んだ結果、利用に関する大きな苦情は無かった。</p> <p>・職員、利用者が一体となってエネルギーの省力化に努めたことにより、環境負荷軽減が図られた。</p> <p>さらに、ゴミ排出量の軽減等に努め、一定の成果があったと考える。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者の安全を最優先する意思決定や、実効性を重視した職員研修、多層的な財務監査体制など、全ての項目において安定的に運営が行われており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。</p>	A	B	C	D		B		
A	B	C	D								
	B										

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼常勤職員に統括責任者「館長」、職務代理者「副館長」2名(事務1名、図書1名＝司書資格有)、一般事務職員、図書職員を配置した。この他、補助としてパート職員(事務1名、図書1名、夜間5名)を配置し円滑な業務遂行に努めた。
- ▼職員の業務分担(事務分掌)、指揮命令系統、連絡系統を定め、緊急時対応が迅速に行えるよう連絡網を整備している。
- ▼業務水準の維持向上と適切なサービスの提供を図るため、当初の研修計画に基づき職員研修を実施している。
- ▼パート職員には、館長他担当職員から案内業務、使用承認、利用料金収納事務等のほか、関係法令について事務引継ぎ時間を利用して実施し、不適切な事務処理がないように努めた。
- ▼パート職員の労働時間の平準化のため、特定のパートに業務が偏ることのないよう勤務シフト作成に配慮してきた。
- ▼法令や規則、倫理などを守るコンプライアンスを徹底した。

◆一般研修

研修名	主催	実施日	参加
業務効率化を生成AIで実現する	日本マイクロソフト(株)	9/26	1名
防火管理研修会	札幌市防火管理者協会	11/19	1名
なるほど!カンタン♪ふるさと納税講習会	北海道新聞社	11/28	1名
これで安心!基礎からわかる年末調整事務	さっぽろ産業振興財団	11/29	1名
火災原因から学ぶ安全管理	札幌防火管理者協会(YouTube視聴)	11/18~12/14	5名
生涯学習関連施設職員研修	生涯学習センター	2/25	1名

◆消防訓練

自衛消防訓練(前期)	苗穂・本町地センター	7/21	4名
自衛消防訓練(後期)	苗穂・本町地センター	3/20	4名

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼広報関係の充実について
従前の「地区センターだより」の紙面構成を見直し、より親しみやすい「地区センターだより」となるよう紙面の充実を図った。また、引き続きSNSを積極的に活用した。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

▼苗穂・本町地区センター施設の保守・管理の適正化により、利用者に快適・安全な施設利用を提供するため札幌市の承認を得て次の業務について第三者に対し業務の委託を行った。

委託業務名	委託業務内容
1 清掃業務	地区センターの清掃業務
2 機械警備業務	夜間・休館日の警備業務
3 自動ドア保全業務	自動ドアの保守点検業務

・業務日誌等で、日中と夜間の業務の情報共有に努めた結果、問題となるような事故・事象は発生しなかった。

・札幌市防火管理者協会の作成したYouTube「火災原因から学ぶ安全管理」視聴し安全管理の理解を深めた。

・自衛消防訓練では、これまで行っていた日中を夕刻の時間にずらし、人員の少ない夜間パート職員を中心に実施した。

・「地区センターだより」の紙面を見やすく工夫し事業の集客増に繋がっている。

4	エレベーター 保守点検業務	エレベーター保守点検業務
---	------------------	--------------

5	舞台装置保全業務	ステージ・吊り具等舞台装置点検
6	自家用電気工作物 保安管理業務	館内照明器具等 電気設備点検業務
7	消防設備保全業務	消火器・非常放送設備等 点検業務
8	除排雪業務	除・排雪業務
9	建築基準法点検業務	建築物及び建築設備の 点検業務
10	ボイラ保守点検業務	ボイラ保守点検業務
11	芝生管理業務	芝生管理業務
12	空調機器点検業務	空調機器(エアコン)点検業務
以上12業務		

・各点検等業務中で、作動が不安定な個所(ボイラーの異音、舞台装置配電盤の老朽等)を迅速に指摘いただき、速やかに補修が出来たことで高額な費用の支出を免れた。

▼委託業務の全てについて、業務の遅延・未執行業務及び改善命令等による業務の手直しは無く、委託契約仕様書に基づき適正に関係業務は履行された。

▼請求書受理後、契約条項に基づき所要経費を定められた所定の期間内に支出事務を終了している。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼運営協議会の開催状況は下表のとおり。

開催日	協議・報告内容
運営協議会 6年6月24日 苗穂・本町地区センター	1.報告事項 (1)令和5年度事業実施報告及び令和6年度事業実施計画 (2)利用者アンケート集計結果 2.検討事項 (1)地区センター運営に関する意見交換
第1回館長会議 6年6月13日 東区民センター	1.地域振興課連絡事項 (1)備品購入・廃棄要望調査 (2)Wi-Fiに関するアンケート調査 2.情報交換 (1)夜間帯の当日時間貸延長について
第2回館長会議 6年9月12日 ふしこ地区センター	1.地域振興課連絡事項 (1)賃金スライド制度協定の改定 2.情報交換 (1)施設・設備の老朽化に伴う修繕費について
第3回館長会議 6年12月17日 栄地区センター	1.地域振興課連絡事項 (1)条令改正による料金改定の件 2.情報交換 (1)指定管理費積算時の講座等収入の件
第4回館長会議 7年3月13日 苗穂・本町地区センター	1.地域振興課連絡事項 (1)料金改定に伴う経費の補填 (2)光熱費高騰の補填 (3)年度末・年度初めの提出書類 2.情報交換
<運営協議会メンバー>	
<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市東区地域振興課長 ・札幌市東区地域活動担当係長・同担当者 ・小学校・中学校各校長・地域保育園園長 	

・運営協議会では、委員の方々から賛同と事業継続の提案があり、次年度の事業計画に反映した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体役員・地域団体代表 ・指定管理者(運営委員会会長、副会長) ・地区センター館長、副館長 <p>▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)</p> <p>▼資金管理については、指定管理業務、自主事業毎の区分経理を実施しており、運営委員会の内部監査と併せ税理士による外部会計監査を実施している。</p> <p>▼現金等の取扱いは、現金等取扱規定を整備し日々の現金取扱について適正に取扱っている。</p> <p>▼出入金は副館長(事務)による現金の確認後、副館長(図書)、館長の順で決裁をしている。</p> <p>▽ 要望・苦情対応</p> <p>▼要望・苦情については、簡易な案件を除き直接館長が対応するよう1本化している。</p> <p>▼要望・苦情の内容、対応、措置、結果はパートを含め全職員に周知することとし、複雑な案件は、臨時的職員会議を開催し対応を協議する。さらに、運営委員会に申し出るほか、札幌市(東区地域振興課)の助言を仰ぐこととしている。</p> <p>▼簡易なものを除き、対応状況を市に報告するとともに、併せて運営委員会に報告することとしている。</p> <p>▽記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等の対応、自己評価の実施)</p> <p>▼アンケートは、原則、各事業(講座を含む)終了後に行っている。</p>	<p>・運営委員会の内部監査および税理士による外部監査において資金管理は「適正」の評価を得ている。</p> <p>・令和6年度の苦情はなかった。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>▼当地区センターで働くパート職員は全員に労働基準法で定めた1時間単価の最低賃金を上回る賃金を支給している。</p> <p>▼最低賃金引き上げに伴う改正には、速やかに時給額を改正し支給している。</p> <p>▼時間外労働について、所定の割増賃金を支払っている。</p> <p>▼雇用職員(常勤職員・パート職員)の雇用条件について就業規則を定め、労働基準監督署の承認済である。</p> <p>▼常勤職員にあつては、関係法令に基づき所定の社会保険、労働保険に加入している。</p> <p>▼常勤職員は、1年に1回定期健康診断を実施している。</p> <p>▼指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組を適切に実施した。</p> <p>▼第三者委託により実施している業務について、受託者に当該業務従事者及び労働環境に関わる情報提供を求めた。</p>	<p>・労働関係法令の遵守、雇用環境の維持向上に努め、職員からの苦情も出ていない。</p> <p>・身体にハンデのある者を継続雇した(身障3級=頸椎後縦靭帯骨化症)。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">労働関係法令の遵守が徹底されていることはもとより、職員の意欲向上に繋がる雇用環境の改善に努めており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	労働関係法令の遵守が徹底されていることはもとより、職員の意欲向上に繋がる雇用環境の改善に努めており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。			
A	B	C	D								
労働関係法令の遵守が徹底されていることはもとより、職員の意欲向上に繋がる雇用環境の改善に努めており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理に関する業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>○利用者の安全確保について</p> <p>▼館内の巡回は定期的のほか必要が認められる場合は速やかに実施している。</p> <p>▼令和6年6月、緊急時対応マニュアルを更新し実効性のあるものとした。(ケガ・体調不良発症者に対応する医療編と火災、地震、Jアラート等に対応する避難編および運営委員会と職員の緊急連絡網)</p> <p>▼貸室時や事業(イベント、講座等)開催時、非常口等の案内を利用前に利用者に行っている。</p> <p>▼AEDの作動確認を定期的に行い、緊急時の使用に万全を期している。※AEDは事務室入口側(ロビー)に配架し、誰でもすぐに使用できる状態にしている。</p> <p>▼消防設備点検業務に併せ非常放送設備使用手順を確認した。</p> <p>▼職員、利用者を含めた避難訓練を7月21日と3月20日の2回実施した。</p> <p>▼損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。</p>	<p>・施設の維持管理をしっかりと行ったことで、利用者が危険となる事象はなかった。</p> <p>・施設を利用中の事故はなく、損害保険を請求する事象はなかった。</p>	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">施設の維持管理、利用者の安全確保、防災対策に関する業務が着実に実施するに留まらず、駐車場の課題対応など、利用者本位のサービス向上努力も見られ、仕様書の要求水準を達成していると評価する。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	施設の維持管理、利用者の安全確保、防災対策に関する業務が着実に実施するに留まらず、駐車場の課題対応など、利用者本位のサービス向上努力も見られ、仕様書の要求水準を達成していると評価する。			
A	B	C	D								
施設の維持管理、利用者の安全確保、防災対策に関する業務が着実に実施するに留まらず、駐車場の課題対応など、利用者本位のサービス向上努力も見られ、仕様書の要求水準を達成していると評価する。											

○市民サービス向上への配慮
 ▼無料開放事業を固定し毎月必ず利用できるようにした。
 ▼引き続きセンター2Fの自習コーナーを受験生や資格取得者に開放した。
 ▼コピーの有料サービスの提供を行っている。
 ▽施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、駐車場除排雪等)
 ▼施設・設備等について、適正かつ安全な環境を利用者に提供するため、関係業務を第三者委託により実施した。
 ▼備品管理は、毎年度備品台帳と照合し、併せて不具合のある備品のチェックと修繕・廃棄・更新を行った。
 ▼駐車場は20台の駐車スペースを確保しているが、曜日や時間帯によって混雑の状況にある。特に冬季間は降雪でスペースの確保が厳しくなるため、食紅を溶かし赤いラインを引き駐車台数の確保に努めた。また、荒天の場合は職員が案内誘導を行った。
 なお、除雪は降雪10cm以上で除雪業者が作業を行い開館時間前に終了する。業務は良好に行われた。
 ▽防災
 ▼6月、緊急時対応マニュアルを更新し実効性のあるものとした。(火災、地震、Jアラート等に対応する避難および運営委員会と職員の緊急連絡網)
 ▼貸室および行事(講座を含む)開催に当たっては、事前に非常口の案内等避難指示について口頭で説明している。
 ▼消防設備点検時、職員も放送設備の操作方法等を確認した。

・2Fの自習コーナーの開放で、利用する受験生たちから好評を得た。新型コロナウイルス感染報告
 ・第三者委託業務の各々の仕様書水準を良好に達成している。
 ・センター駐車場の事故報告は無かった。
 ・このほか防火管理者研修や火災原因から学ぶ安全管理(札幌市防災協会作製YouTube)等で安全管理を深めている。

(4)事業の計画及び実施に関する業

▽ 区民講座に関する学習機会の提供業務

▼6年度区民講座は31講座を開講した。

開講講座	実施回数	延べ時間(時間)	募集人数	受講者数	受講率	備考
かけっこ教室 1.2年生	1	2.0	20	21	105%	
かけっこ教室 3年生以上	1	2.0	20	20	100%	
健康体操 ステップ21	13	13.0	260	179	69%	延人数
体操教室 逆上がり編	1	1.0	20	20	100%	
体操教室 マット運動編	1	1.0	20	20	100%	
体操教室 跳び箱編	1	1.0	20	20	100%	
多肉植物 寄せ植え体験	1	2.0	20	15	75%	
夏野菜で作る 水キムチ(午前)	1	2.0	12	10	83%	
夏野菜で作る 水キムチ(午後)	1	2.0	12	10	83%	
子どもの ビジョントレーニング	1	1.5	20	6	30%	
夏休み企画 ディンプルアート	1	2.0	20	10	50%	SDGs 教室
夏休み企画 ハーバリウム	1	2.0	15	11	73%	
夏休み企画 科学実験教室	1	2.0	20	9	45%	
シニア向け スマホ基礎講座	3	6.0	24	18	75%	延人数
iDeCoと NISA	1	2.0	20	7	35%	

講座・教室は前年度アンケート結果をふまえて老若男女が気軽に参加できるよう計画した。概ね定員をクリアし、全体で協定書が求める受講者数80%を確保した。受講者アンケートでも満足度が「大変満足」「満足」併せて96%を超えて、手ごたえを感じている。
 ・センター周辺に小学校2校、中学校1校があり、夏休み及び冬休み企画として「ディンプルアート」「科学実験教室」「親子で挑戦手打ちうどん教室」「低学年スキー教室」等で、子どもたちに記憶に残る種目を実施した。
 ・当センターでは人気の高い種目ばかりではなく、人気の低い種目にも目を向け実施(ビジョントレーニング、災害時の健康を考えるセミナー)

A B C D

区民講座、地域交流事業、図書業務等の実施にあたり創意工夫を凝らしているに留まらず、人気が見込める講座だけでなく、あえて「災害時の健康を考えるセミナー」のような公共性の高い講座も実施し、「面白い講座をやっているセンター」という独自の価値を戦略的に構築しており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。

MIND食 ランチョンセミナー	1	1.0	30	30	100%	
苔テラリウム作り	1	1.5	20	10	50%	
段ボール箱で 堆肥を作る方法	1	1.5	30	15	50%	
新そば そば打ち体験	1	2.0	8	7	88%	
繕う楽しみ ダーニング講座	1	2.5	6	3	50%	初
介護保険 基礎講座	5	2.0	20	6	30%	
移動天文台 観望会	1	2.0	40	55	138%	初
ディスコDE体操	6	6.0	120	143	119%	初
知っておきたい 年取の壁	1	1.5	20	19	95%	
災害時の健康を 考えるセミナー	1	1.0	30	12	40%	
大人の ハーバリウム	1	1.5	20	7	35%	
身体喜ぶ 美肌キム子(午前)	1	2.0	12	12	100%	
身体喜ぶ 美肌キム子(午後)	1	2.0	12	12	100%	
親子で挑戦手打う どん教室(午前)	1	1.5	8	8	100%	
親子で挑戦手打う どん教室(午前)	1	1.5	8	8	100%	
低学年スキー教室	1	2.0	30	29	97%	
合計			937	752	80%	

ナー等)したことで「苗穂・本町地区センターは面白い講座をやっている」といった認知が広がった。

▽ 地域住民の交流等を目的とした事業に関する業務

▼ 定例事業

事業名	実施回数	計	平均参加者数
	参加者数		
歌声サロン	実施回数	9	21.9人
	参加者数	197	
ちびっこひろば	実施回数	15	18人
	参加者数	270	
計	実施回数	24	19.5人
	参加者数	467	

※歌声サロンは1月～3月の冬期間は中止とした。

事業名	実施回数	参加者数
交通安全教室 返納か更新か	1回	9名
たねダンゴ	1回	21名
第23回 文化祭	2日	220人
ほのぼのコンサート	1日	144名
被災地支援 カレンダー販売会	28日	購入者 延806人
開館記念 コンサート	1日	125名
計	29日(回)	1,410名

・恒例のカレンダー販売会、76社と個人38名からカレンダーの提供があった。
320,253円(現金寄付5,792円含む)売上額となった。
「NPO法人さくら並木ネットワーク 20,015円」
「石川県令和6年能登半島地震災害義援金 200,238円」
「認定NPO法人カタリバ 100,000円」寄付した。

項目		計 (回・人)	実施回数1回 平均利用者数(人)
親子の日	実施回数	27	7.7人
	利用者数	208	
バドミントン	実施回数	11	10.8人
	利用者数	119	
卓球	実施回数	12	11.5人
	利用者数	138	
自由の日	実施回数	12	3.7人
	利用者数	44	
自習コーナーの開放	実施回数	1,077	2.0人
	利用者数	2,163	
計	実施回数	1,139	2.3人
	利用者数	2,672	
無料開放事業 平均利用者数(人)			

・開放事業のうち自習コーナーは、特に高校、大学受験生に好評で感謝の声が多数届いている。

▼無料開放事業として、2階に自習コーナーを常設し開放している。

▽図書室業務

▼図書業務を円滑に進めるため、司書資格者1名を採用している。

▼図書室利用者に対しアンケート調査を実施し、全体的満足度で大変満足と満足併せて91%の評価を受けた。

(5)施設の利用等に関する業務

▽ 利用件数等

		R6計画	R6実績	差(計画-実績)
体育室	件数(件)	1,082	1,273	-191
	人数(人)	20,708	23,251	-2,543
	稼働率(%)	76.0	81.5	-6
集会室	件数(件)	834	1,233	-399
	人数(人)	9,000	9,999	-999
	稼働率(%)	52.0	53.1	-1
実習室	件数(件)	486	478	8
	人数(人)	2,730	3,322	-592
	稼働率(%)	37.8	42.0	-4
和室	件数(件)	1,013	1,567	-554
	人数(人)	5,456	6,231	-775
	稼働率(%)	55.2	65.3	-10
計	件数(件)	3,415	4,551	-1,136
	人数(人)	37,894	42,803	-4,909
	稼働率(%)	55.3	60.5	-5

・全室とも時間貸しが増加した。特に和室の時間貸しが顕著であった。

・時間貸が増加するも中途半端な空き時間も増え、全体として使用料収入は減少した。

A	B	C	D
令和6年度計画に対し、ほぼ全ての部屋で件数・人数・稼働率が計画値を上回っており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。			

	<p>▼実習室を除き各室とも利用件数が前年度実績を超え、全室で利用人数は前年度を超えた。 ▼全室とも時間貸しが増加したことにより、隙間時間が増え稼働率が下がった。 ▼毎週体育室全面を利用していた団体の利用が学校開放に利用の場を変えたことで、利用料金が340,000円ほど減少した。</p> <p>▽不承認0件 取り消し0件 減免0件 還付 2件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼事業開催のためポスター・チラシ掲示、配架場所を利用者の導線に移動した。 ▼各事業の実施について、積極的に町内会に回覧で事業案内を行った。 ▼開講予定講座については、ミニチラシ(A6サイズ程度)を作成、来館者が持ち帰り易いよう工夫した。 ▼サークル会員の加入増とサークル活動の活性化を図るため、各サークル別に基本となる活動内容を館内掲示板で周知した。</p>	<p>・申込期日前の問い合わせが増え、定員をオーバーする講座も増えた。</p>															
(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ホームページのほかSNS(Facebook、Instagram)で募集のほか、実施事業の様態を配信した。 ▼「地区センターだより」を2回発行。町内会の協力のもと約6,000部を戸別配布および町内回覧を実施した。 ▼地域ミニコミ紙(ハッピータウン苗穂、フリッパー、さっぽろ10区(さっぽろトーク=道新折込))に地区センター事業について関係記事の掲載(無料)した。 ▼注力事業を主体に、札幌市広報課報道係を通して、各報道機関に事業チラシの配布をお願いした。 「考えてみよう 免許証の返納と更新」が北海道新聞、読売新聞およびUHBで報道された。 ▼サークル案内ポスターを1階通路に掲示し、サークル会員の募集案内を行っている。 ▼図書新刊本を図書室入口に案内掲示し、図書利用者の利便性に配慮した。</p>	<p>・当センター事業がTV、新聞で取り上げられ、新聞に掲載されたりTVで放映されたことが利用者や参加者の間でも話題になっていた。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>積極的に情報提供を行い、テレビ・新聞等で事業が取り上げられるという成果を上げている。これは施設の認知度向上と利用促進に貢献するものであり、仕様書の要求水準を達成していると評価する。</p>	A	B	C	D										
A	B	C	D														
2 自主事業その他																	
	<p>▽ 自主事業</p> <p>▼自動販売機売上事業 令和6年度 予算額166千円 決算額137千円と27千円の減収となった。</p> <p>▼カラオケ機器の有料貸出事業 令和6年度 予算額10千円 決算額7.5千円と2.5千円の減収となった。</p> <p>▼自主事業の収支については、本事業と明確に区分し経理処理した。 ▼自販機は2台設置されている。設置使用料、電気料は、設置業者の支払いとなっておりセンターの支出はない。</p> <p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等</p> <p>▼維持管理業務、物品購入、施設等の修繕は、出来る限り札幌市内企業に発注している。 ▼経常的に使用する印刷物は、障がい者授産施設に発注している。 ▼区内障がい者授産施設で製造する商品(パン)をロビーで販売している。 ▼市内企業からの不要カレンダーの提供を受け、毎年カレンダー販売会を開催し、売上金全額(320,253円(現金寄付5,792円含む))を寄付した。</p> <table border="0"> <tr> <td>・さくらネットワーク</td> <td>20,015円</td> </tr> <tr> <td>・石川県令和6年能登半島地震災害義援金</td> <td>200,238円</td> </tr> <tr> <td>・認定NPO法人 カタリバ</td> <td>100,000円</td> </tr> </table>	・さくらネットワーク	20,015円	・石川県令和6年能登半島地震災害義援金	200,238円	・認定NPO法人 カタリバ	100,000円	<p>・カラオケ機器の故障が響き2.5千円減となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>自主事業の運営や市内企業の活用、福祉施策への配慮が適切に実施されており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。</p>	A	B	C	D				
・さくらネットワーク	20,015円																
・石川県令和6年能登半島地震災害義援金	200,238円																
・認定NPO法人 カタリバ	100,000円																
A	B	C	D														

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法 ▼講座、その他事業は、都度事業終了後にアンケートを実施した。

▼図書室アンケート(1回/年)
・図書室利用者に調査用紙配布し投函箱で回収した。
実施期間:6年11月1日～6年11月30日

▼利用者アンケート(1回/年)
・サークル利用者、一般利用者に調査用紙配布し投函箱で回収した。
実施期間:7年3月1日～7年3月31日

結果概要 ◇講座アンケート 回答数 354名(参加者数 752名)

	大変満足	満足	普通	不満
満足度	65.8% (233人)	30.5% (108人)	3.4% (12人)	0.3% (1人)
理解	49.2% (174人)	39.5% (140人)	9.3% (20人)	2.0% (7人)
講師	64.7% (229人)	29.7% (105人)	5.6% (12人)	0.0% (0人)
料金	33.3% (111人)	62.8% (209人)		3.9% (13人)
職員	69.8% (247人)	26.8% (95人)	3.4% (12人)	0.0% (0人)

○参加者の声

- ・先生の教え方が分かりやすく良かった。(かけっこ教室)
- ・優しく教えてくれる講師に安心感がありました。(体操教室 逆上がり編)
- ・夏休みの教室はとてもありがたい。(夏休み子ども教室)
- 開催して欲しい講座・教室
 - ・スポーツ系 フットサル、年齢差の無い生涯スポーツ
ウォーキング、ダンス、バドミントン等
 - ・文科系系 折り紙、ウクレレ、ガーデニング等

◇図書室アンケート 回答数 31名

- 利用年代 50歳以上 21名(68%)
30歳～50歳未満 8名(26%)
30歳未満 2名(6%)
- 住 区 東 区 27名(87%)
- 職 業 学 生 1名(3%)
会社員、公務員、パート 16名(52%)
専業(主婦、主夫)、無職 14名(45%)

	大変満足	満足	不満	分からない
蔵書種類	16% (5人)	42% (13人)	42% (13人)	0% (0人)
相談サービス	32% (10人)	39% (12人)	3% (1人)	26% (8人)
行事・展示	19% (6人)	29% (9人)	10% (3人)	42% (13人)
設備	39% (12人)	61% (19人)	0% (0人)	0% (0人)
職員	39% (12人)	61% (19人)	0% (0人)	0% (0人)
満足度	26% (8人)	64% (20人)	10% (3人)	0% (0人)

A	B	C	D
寄せられた意見や要望に真摯に向き合い、前年度の要望を次年度の事業計画へ反映させるなど運営改善に務めており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。			

・実施講座アンケート、図書室アンケート、利用者アンケートとも概ね良好な結果を頂いた。質・量ともに参加者が納得する事業を提供できたものとする。

しかし、不満を感じる方が存在することも忘れず、職員間で話しあい改善点等を模索した。

なお、令和5年度講座アンケートで希望の多かった「体操教室(鉄棒・跳び箱・マット運動)」「多肉植物」「ハーバリウム」を令和6年度に計画実施し、相応の評価を得た。

○利用者の声

- ・子供向けの本が見やすいですごく助かっています。
- ・職員の皆さんはとても親切で感じがよいです。
- ・電子書籍の数を増やして欲しい。

◇利用者アンケート 回答数 87名

来館目的

貸室利用	サークル活動	図書利用	その他	計
16	27	16	28	87
18%	31%	18%	32%	100%

利用回数

初めて	毎週	週2~4	年に数回	計
0	63	17	7	87
0%	72%	20%	8%	100%

清潔さ

大変良い	良い	ふつう	悪い	計
40	40	7	0	87
46%	46%	8%	0%	100%

接客

大変良い	良い	ふつう	悪い	計
36	33	18	0	87
41.4%	37.9%	20.7%	0.0%	100.0%

利用者からの意見・要望とその対応

要望: 体育室入口にハンガーがあると助かる。

回答: 体育室入口周辺は狭小で設置は厳しいです。また、コート類は靴と違い間違いが多発すると推量します。ご自身で管理をお願いいたします。

要望: 体育室にバスケットゴールを設置して欲しい。

回答: 昨年度のより要望があり、体育室の壁の強度や予算を確認した結果、高額な費用が掛かることが分かりました。現在、移動式ゴールの設置を検討しております。導入が決定した場合、ホームページ等でお知らせいたします。

要望: 図書の電子書籍の数や種類を充実させて欲しい。

回答: 電子書籍は中央図書館の所管となります。要望があったことはしっかりお伝えいたします。

・要望は内容の大小にかかわらず聞き、可能なものから対応している。予算を伴うものや施設の物理的状況で応えられないものもあるが代替案が無いが職員会議等で話し合っている。

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R6年度計画	R6年度決算	差(決算-計画)				
収入	36,963	38,305	1,342				
指定管理業務収入	36,789	38,160	1,371				
指定管理費	29,533	30,607	1,074				
利用料金	6,500	6,779	279				
その他	756	774	18				
自主事業収入	174	145	▲ 29				
支出	37,367	38,534	1,167				
指定管理業務支出	37,367	38,534	1,167				
自主事業支出	0	0	0				
収入-支出	▲ 404	▲ 229	175				
自主事業による利益還元	0	94	94				
法人税等	0	70	70				
純利益	-404	-393	11				

【参考】	R6年度決算	内容
指定管理業務による利益還元	0	下記のとおり

・貸室利用では時間貸しの利用が増え、反面区分利用が減る結果となり利用料金も34,000円の減収となった。

・令和7年7月より貸室利用料金が改定される。料金値上げを理由に数団体が解散する動きもあるが、既存サークルのテコ入れのほか講座・教室および各種イベントを積極的に行い、新しいサークルが生まれる環境を作っていきたい。ちなみに令和5年度3サークル、令和6年度3サークルが誕生している。

計画段階で赤字が見込まれる厳しい財務状況の中、利用料金収入等が計画を上回り、最終的な損失額を計画より圧縮することに成功しており、仕様書の要求水準を達成していると評価する。

▽ 説明

▼自主事業による利益還元について

・展示ボード1セット新規購入 94千円

▼指定管理業務による利益還元について

・令和6年度は決算において△40万円弱となった。昨年末の決算見込みで赤字が想定されたため、指定業務にかかる利益還元は厳しいと判断した。

▼自主事業の支出について決算が0になったのは、自販機設置業者に負担して貰っている為実質0になった。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

▼当団体の財務状況は、指定管理者制度導入時より毎年微増で経過していたが、令和6年度は約40万円程の赤字を計上した。これは、開館25年を経過し設備各所に不具合が発生、その都度の修理費用が嵩んだことにある。東区地域振興課にも援助をいただき、集会室のスライディングウォールや給湯室の電気温水器の修繕を行ったが、その他、体育室及びロビーの排煙窓補修、ポイラー配電盤の交換、舞台装置配電盤の交換等、想定外の修繕があった。公道の除雪作業により破損した竹垣の補修やセンター周囲の樹木の枝払いは職員が協力して行っている。令和6年度に生じた赤字約40万円は、指定管理以降微増していた繰越金にて解消済みである。

▼安定経営能力は選定時より向上している。

当センターの利用者の多くが高齢者のため、施設の不具合の発見に努め、発見時は速やかな修繕を行うようにしている。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応

▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。

▼協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について暴力団員や暴力関係事業者を相手に契約は一切行っていない。

適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>令和6年度に計画した事業および講座は、いずれも滞りなく実施されました。各事業ごとにアンケートを実施した結果、概ね高い評価を得ることができました。</p> <p>特に、以下の講座・教室や地域交流事業は特色があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「MIND食ランチョンセミナー」(北海道大学病院栄養管理部) ・「夏休みこども企画 首振りドラゴンを作ろう」(北海道科学大学未来デザイン学部) ・「移動天文台が来るよ」(札幌市青少年科学館) ・「たねダンゴで種をまこう」(地域タウンガーディナー) ・「交通安全教室 返納と更新」(札幌方面東警察署交通課) <p>これらは、地域への還元を模索する各団体との共催により実現し、団体には活動の場を、当センターには講師料の抑制という、いわゆる“WIN-WIN”の関係が築かれました。</p> <p>また、人気の高いものに偏ることなく、注目度の低いテーマにも積極的に取り組む姿勢を大切にすることで、「苗穂・本町地区センターは面白いことをやっている」といった認知が地域に広まりつつあります。施設面では、ボイラーの異音や舞台装置の不具合といったトラブルを早期に発見・修繕し、利用者への影響を未然に防ぎました。加えて、竹垣の整備やエアコンフィルターの定期清掃など、職員が交代で可能な範囲の作業を行うことで、経費の圧縮にも努めました。</p> <p>その一方で、令和6年度決算においては約40万円の赤字が生じましたが、過去からの繰越金により補填しています。</p> <p>講座・教室、図書室ともに利用者満足度は高く、地域に根ざしたコミュニティセンターとして、1年間の役割をしっかりと果たせたことを実感しています。</p>	<p>各種講座やイベント等で収集したアンケート結果をもとに、運営委員会および事務局が十分に検討を重ね、令和7年度の事業計画を策定しました。</p> <p>①講座・教室・各種イベントについては、以下の方針で取り組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定している講師との意思疎通を密にし、より質の高い内容を実現していきます。 ・地域還元活動を模索する団体との共催をさらに強化し、あわせて地域ボランティアの協力も積極的に得ていきます。 ・センター周辺の植栽や花壇の整備についても、地域ボランティアの協力を仰ぎながら進めていきます。 <p>②子育て支援事業「ちびっこひろば」では、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児と保護者にとっての「遊び場」および「情報交換の場」として、より一層の定着を図ります。 <p>③貸室利用料の減少については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存サークルへの支援強化や、新規サークルが生まれやすい環境整備を通じて、利用件数の増加を目指します。 ・利用料金の改定後に向けた対応についても、具体的な方策を十分に検討してまいります。 <p>④そのほか、常に利用者目線を最優先に据えた運営を行い、地域に根差した地区センターの確立を目指します。</p> <p>また、地域住民が困難な状況に直面した場合には、その解消・緩和に資する柔軟な事業を速やかに実施できるよう、対応力のあるセンター運営にも努めていきます。</p>
【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>仕様書に定める各項目において要求水準を達成しているに留まらず、その大半で大きく上回る、傑出して優れた管理運営を実践している。大学や病院等の外部専門機関との連携を軸とした質の高い事業展開、地域社会の課題解決に貢献する数々の取り組み、そして創意工夫にあふれた施設管理は、コミュニティ施設の理想的な姿を体現しており、他の施設の模範となるものとして最高レベルで評価する。</p>	<p>今期決算が赤字となったことについては、過去の繰越金で補填されており、法人の財務基盤の安定性は確認できる。指定管理者自身が重点取組事項として掲げている通り、来年度の料金改定が利用状況に与える影響を注視しつつ、今期支出が計画を超過した要因を十分に分析し、引き続き経費の効率的な執行に努められたい。</p>